

就業者が希望するライフスタイルに合わせた多様な働き方等取組事例

事業体名：スサチップ工業(株)

区分	勤務時間（スライド勤務）
背景、課題	猛暑が続く夏季の暑さ対策として、勤務時間を早めて涼しい時間からの始業を望む声があった。
取組内容	就業者へのヒアリング、及び社会保険労務士との協議を行い、就業規則を「1日の所定労働時間は8時間で変わらないが、必要と認められる場合は、始業・終業の時刻を前後にスライドできる」形に変更することとした。 （就業規則は他の修正もあり、まだ労働基準監督署への届出は完了していないが、スライド勤務制度は既に開始）
成果	通常の就業時間である8時～17時を1時間早め、7時～16時に変更したことにより、就業者からは「体の負担が相当楽になった」との報告があった。
今後の課題	・暑さ対策としては、こまめな休憩取得や空調服の配布、熱中症対策用品（OS-1）の配布等と併せて行わないと不十分。 ⇒空調服や熱中症対策用品については劣化するため、毎年のフォローが必要。 ・寒さ対策としては対応していない。就業規則には明文化していないが、冬季には暗黙の了解で日照時間に応じた時間短縮が行われている。 ・「意欲と能力のある林業経営者育成・強化対策事業」を活用した、労働環境の整備（休憩用ユニット冷暖房施設整備等）